



尾崎眞吾のみすゞぎやらり
「あるとき」より

JULA出版局
「金子みすゞ全集」より

わたしと小鳥とすすと
わたしが両手をひろげても、
お空はちっともとべないが、
とべる小鳥は私のように、
地面しづかをはやくは走れない。
わたしがからだをゆすつても、
きれいな音はでないけど、
あの鳴るすすはわたしのよう
に
たくさんうたは知らないよ。
すすと、小鳥と、それからわたし、
みんなちがって、みんないい。

《私の好きな詩 大橋 勝英（医師）》

平成21年10月4日、宇部市での中四国医師会連合総会に出席した折り、女性歌手による「私と小鳥と鈴と」の歌のあと、矢崎節夫先生の特別講演「みすゞさんのうれしいまなざしーまなざしを変えると見えてくるものー」がありました。みすゞさんの優しく純な心、見えない世界、共鳴してこだますることの大切さ、「わたしとあなた」から「あなたとわたし」の時代について語られました。私はみすゞさんの生涯と詩を知り新鮮な驚きとともに大変感動させられました。一緒に帰途についた役員も同様でした。みすゞさんに関する本でますます傾注させられております。

私が大学生の時、生き物の能力を称えて書いた随筆がありますが、この詩でそれを懐かしく思い出しました。人間社会のそばで生きているすすめ達の日。アリさんが食べ物を見つけ、自分で運べないとないとわかると仲間を呼びにまっしぐらに巣へ入ると、たちまちたくさんのアリが出てきて走るようにえさ場に向かい、数匹がのっかたりせわしく四方八方に引っ張ったりしながらでも、食べ物はよろよろと巣に向かう様。生まれて間もない小さなクモが誰に教えられるでもなく、一人前にせっせと巣を張る神秘的な世界や能力。季節の花達はその時期にそろって咲く不思議さ。生き物は自然に適応し自分の能力に徹して生きています。冷暖房の設備は要らない。人間より優れているものをたくさん持っています。

みすゞさんの心もまた優れていてすばらしい。心が洗われます。現代に甦ってきてくれてありがとう。

みすゞイベント情報

参加募集

★ 第13回みすゞ交流会

3月6日(土)～3月7日(日)(2日間)

3月6日・・・王子山・鯨墓・鯨記念館・大谷山荘(みすゞ交流会・懇親会)

3月7日・・・みすゞ記念館・遍照寺・長門市立図書館(田辺国武さんに聞く《座・東京みかん代表》)

参加費 約35,000円(参加数15人)・・・参加数の多少でバス代が増減します。

今年は、交流会に参加し、みすゞさんのふるさとで2日間を楽しく、有意義に過ごしたいと思います。

20人乗りサロンバスを借り切りました。ぜひご参加ください。

締め切り 1月20日

金子みすゞ展

日時 3月24日～4月4日

場所 大丸ギャラリー・心斎橋(大阪)

入場料 700円(前売り500円)中学生以下無料

★ 金子みすゞ展ツアー

日時 3月28日(日) AM:7:00 — PM:12:00 自由行動(4時間) — PM:9:00
(出発) (到着)

参加費 10,000円

締め切り 3月10日

入場料 招待券付

★問い合わせ 電話・FAX-41-1125 090-5642-7809まで



★第13回石鎚みすゞコスモスの集い★

すふーん博士と金子みすゞII



- 日時 2010年11月21日 PM2:00(予定)
- 場所 愛媛県科学総合博物館 多目的ホール
- 参加費 2000円
- 出演 佐治晴夫 矢崎節夫 枝廣篤昌 らくさぶろう

一部 佐治晴夫の夢見る科学

佐治晴夫

二部 みすゞさんのうれしさ探し

矢崎節夫 枝廣篤昌 らくさぶろう

★一部は、佐治先生のお話をじっくり伺いたいと思います。

★二部は、みすゞさんのうれしい、やさしい、あたたかい「こころ」をゲストの皆さんとともに探したいと思います。

★みんなで意見を出し合い、楽しい会にしたいと思います。

ご意見、ご希望を、お寄せください。

早、2月です。
2月になると、あまみきみこさんの「おいたのぼうし」の絵本を思いだします。オニは、悪者だとばかり思っていたのに、ここでは、寂しがりやの優しいオニです。見方を変えれば、見えないものが見えてくるんだなあ。と、みすゞさんの「ほととぎす」を、連想します。
今年、みすゞ没後80年で、各地でいろいろなイベントが催されます。
東京の、岩崎ちひろ美術館では、3月2日(5月9日まで)「ちひろとみすゞ展」があります。同館で、4月4日に太田治子(太宰治の娘)さんが「ちひろとみすゞ」と題し講演をします。
太田治子さんは、みすゞファンで、昨年、自叙伝「明るいほうへ」を発売されました。みすゞさんのように、これからは明るく生きたいとの思いが綴られています。
みすゞさんの宇宙が、どんどん広がります。うれしいですね。